

2024 年度 第 2 回 定例会

【議事録】

開催日：2024 年 9 月 21 日（土）13:30～16:30

場 所：WEB（Microsoft Teams）および会議室（博多石川ビル 6 階 九州本部会議室）

参加者：WEB 17 名 会議室(Teams 接続担当、発表者 等) 3 名 （欠席 3 名）

（1）新倫理綱領についての意見交換

●新倫理綱領の「7. 秘密情報の保護」について意見交換：意見発表 久原委員（概要）

発表の要旨は、次の通りである。

秘密情報は、研究・開発・製造に関わる技術情報と顧客情報などの営業情報を含み「営業秘密」とされる場合が多く、「営業秘密」と言っても技術者と関係が深いことを再確認した。営業秘密について、不正競争防止法の保護を受けるためには、「秘密管理性」、「有用性」、「非公知性」の 3 つの要件が必要であることに注意が必要である。

●意見交換（抜粋）

- 綱領に謳われている秘密情報の開示の除外条件の「正当な理由」とは、何が該当するか。公益を害する重要事項を防止するようなケースであり、公益通報者保護法に該当するような場合であると考えられる。
- 秘匿性の高い技術評価では、自分よりも正しく評価できそうな外部専門家に評価してもらった方が公益に資するという意見もあるが、それよりも増して、外部への利益相反問題がより重要となる。
- 不正競争防止保護法の保護の 3 要件を満たすものが、秘密情報と考えても良いのではないか。むやみに秘密情報の範囲を広げることに注意が必要である。
- 中途退職者の情報漏洩については、当人が考えた業務の直接の成果については、秘密情報と位置付けられる可能性が高いが、業務で培った素養による新しい応用情報までは縛ることができないのではないか。
- 米国の大学で中国人留学生在が研究していた内容を卒業後、中国から論文発表し、元学生が敗訴した例はある。当該研究費の全てに米国の資金が投入されていたことも要因だと思われる。

（2）タスクチームからの報告

●活動管理タスクチーム（勇チームリーダー代理 永岩）

本会（第 2 回定例会）以降の議事録は、内部保管版を省略し、HP 公開版のみを作成する。

当委員会として九州本部 HP に掲載する資料（過去の議事録等）に関し、ウェブサイトの掲載内容等に関する規則に基づき、自己点検を行うことで委員長との調整を進める。

技術士だより・九州の委員会報告原稿の取りまとめを含め、各委員の分担を再度調整することをチームリーダーに依頼する。

●教育啓発タスクチーム（佐藤チームリーダー 高畦委員）

企業への支援可能性発掘のため、協賛団体にアンケートを実施し、31 社からの回答を得た（アンケート期間 8/20～9/6、高畦委員が対応）。技術者倫理教育への一定のニーズが把握できたので、引き続き対応の検討を進める。

講師を派遣するとなった場合、依頼元の所在に応じた講師選任を検討するとともに、必要な交通費（実費）については、九州本部からの支給を依頼する。

講師が使用する資料についても雛型となるようなものの作成を検討する。

その他、タスクチームの活動として、植木委員作成の講演資料「技術者倫理を学ぶ必要性」について、8/24に勉強会・意見交換会などを実施した。

●企画配信タスクチーム（松井チームリーダー）

現在進めている「倫理綱領の研究」の後の「定例会研究事項」を踏まえた、第3回定例会の研鑽企画について、8/26にWebタスクチーム会議を実施。その結果について報告。

第3回定例会の研鑽企画（1.5h）として試験的に「法と倫理」に関する研鑽企画を提案。了承された。

次回の定例会までには期間が短いため、第3回定例会については、タスクチーム内で「法と倫理」に関する試行的な説明資料作成、または今後の定例会で倫理委員会として「法と倫理」の研究をどのように進めるかの議論ができるような題材を準備することとなった。

●連携・交流タスクチーム（西井チームリーダー代理 永岩）

中国本部との連携行事（2024年11月2日開催の中国本部主催講演会）について、概略の内容を報告。九州支部から井内委員が「動物の権利訴訟から考える環境倫理」について講演を行う予定。

詳細な案内が届き次第、周知を行う予定で、リモートでの参加も可能である。

●沖縄県支部倫理支援担当（井内委員）

沖縄「県技」（九州本部大村幹事）との情報交換を継続する。

（3）会務報告

●総括本部倫理委員会報告（永岩委員長）

統括本部の倫理委員会、情報小委員会、倫理委員会情報小委員会と広報委員会の合同会議の概要として、以下を報告。

- ・月刊「技術士 PE」2025年8月号への執筆者として、岩見委員を紹介した。
- ・外国人技能実習生へのハラスメントに関する創作事例教材が日本技術士会 HP へアップされた。
- ・月刊「技術士 PE」の技術者倫理シリーズのページのみを倫理委員会 HP へもリンクし閲覧可能になった。

●2025年度九州本部倫理委員会活動体制について（永岩委員長）

2025年度の新体制について諮問。11月15日開催の九州本部合同役員会に提出する2025年度倫理委員会活動計画（案）に反映する予定。

委員長：佐藤光雄氏、副委員長：西井康浩氏、河本理之氏、松井法彦氏を基本に調整する。

●2024年度第3回定例会（11/16）の役割分担（確認・依頼）

議事録作成は、久原委員(技術士だより／春季号143号:R7.4.15発行 寄稿原稿作成含む)にお願いする。

●技術士倫理綱領の研究の役割分担（依頼）

9.相互の尊重（2025年第1回予定）を城戸委員にお願いする。

10.継続研鑽と人材育成（2025年第2回予定）を佐竹本部長にお願いする。

以上